

大齋節第5主日特祷

全能の神よ、み子イエス・キリストは大祭司として来られ、その血をもって至聖所に入り、ただひとたび永遠の贖いを全うされました。どうかご自身を神にささげられたキリストの血によって、わたしたちの良心を死に至る行いから清め、あなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 43章16-21節

43:16 主はこう言われる。すなわち海の中に道を、荒れ狂う水の中に通り道を作られ
17 戦車と馬、大軍と兵を連れ出し、彼らを皆倒して起き上がらせず、灯心の火を消すように消滅させた方。18 先にあったことを思い起こすな。昔のことを考えるな。19 見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。あなたがたはそれを知らないのか。確かに、私は荒れ野に道を、荒れ地に川を置く。20 野の獣もジャッカルも驚みみずくも、私を崇める。私が荒れ野に水を、荒れ地に川を与え、私の民、私が選んだ者に飲ませるからだ。21 私はこの民を私のために造った。彼らは私の誉れを告げるであろう。

詩 編 第126編

- 1 主がシオンの繁栄を再びもたらされたとき || 私たちは夢を見ている人のようになった
- 2 その時、私たちの口は笑いに、舌は喜びの歌に満ちた || その時、国々で人々は言った「主は、この人たちに大きな業を成し遂げられた」と
- 3 主は、私たちに大きな業を成し遂げてくださった || 私たちは喜んだ
- 4 主よ、ネゲブに川が流れるように || 私たちの繁栄を再びもたらしてください
- 5 涙と共に種を蒔く人は || 喜びの歌と共に刈り入れる
- 6 種の袋を背負い、泣きながら出て行く人も || 穂の束を背負い、喜びの歌と共に帰って来る

使徒書 フィリピの信徒への手紙 3章4b-14節

4b 肉を頼みとしようと思う人がいるなら、私はなおさらのことです。5 私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派、6 熱心さの点では教会の迫害者、律法の義に関しては非の打ちどころのない者でした。7 しかし、私にとって利益であったこれらのことを、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。8 そればかりか、私の主

イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失と見ています。キリストのゆえに私はすべてを失いましたが、それらを今は屑と考えています。キリストを得、9 キリストの内にいる者と認められるためです。私には、律法による自分の義ではなく、キリストの真実による義、その真実に基づいて神から与えられる義があります。

10 私は、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、11 何とかして死者の中からの復活に達したいのです。12 私は、すでにそれを得たというわけではなく、すでに完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスによって捕らえられているからです。13 きょうだいたち、私自身はすでに捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることで

福音書 ヨハネによる福音書 12章1－8節

12:1 過越祭の六日前に、イエスはベタニアに行かれた。そこには、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロがいた。2 イエスのためにそこで夕食が用意され、マルタは給仕をしていた。ラザロは、イエスと共に席に着いた人々の中にいた。3 その時、マリアが純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ持って来て、イエスの足に塗り、自分の髪でその足を拭った。家は香油の香りでいっぱいになった。4 弟子の一人で、イエスを裏切ろうとしていたイスカリオテのユダが言った。5 「なぜ、この香油を三百デナリオンで売って、貧しい人々に施さなかったのか。」6 彼がこう言ったのは、貧しい人々のことを心に掛けていたからではない。自分が盗人であり、金入れを預かっていて、その中身をごまかしていたからである。7 イエスは言われた。「この人のするままにさせておきなさい。私の埋葬の日のために、それを取っておいたのだ。8 貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、私はいつも一緒にいるわけではない。」